

10月

今月のお知らせ

感染症の流行状況によっては、事業を変更する場合があります。ご了承ください。

ペン習字教室

日時：10月21日（月）13時30分～
場所：さわやか人権文化センター
内容：「絵手紙」「実用的な書」
「石への描画（ストーンアート）」など
～いつでも、どこでも、
誰でも、楽しめること～



手話教室

日時：10月23日（水）19時30分～
場所：さわやか人権文化センター
手話で簡単な日常会話、
子どもから大人まで
楽しく学びましょう。



高齢者教室

日時：10月28日（月）9時 出発
場所：午前 浄福寺（米子市淀江町）
午後 （検討中）
参加費：（昼食代）1100円程度
申込締切：10月18日（金）
どなたでも参加できます。
皆様のご参加をお待ちしています。
詳しい内容等は、さわやか人権文化センターへ
お問い合わせください。（電話 28-2017）

さわやかサロン

10月のさわやかサロンは
お休みします。

「みんなの楽級」参加者募集！

高齢の人も若い
人も、学生も、皆様の
ご参加をお待ちしてい
ます

日時：11月3日（日）10時00分～

場所：さわやか人権文化センター

内容：エコクラフトテープで「リース飾り」をつくります

参加費：500円程度

定員：10人程度

参加申込先：さわやか人権文化センター（電話・FAX 28-2017）

申込締切：10月18日（金）



見本

困りごとはありませんか？ 人権が侵害されていませんか？

悩みごと・生活に困っていることがあ
りましたら、どんなことでも、1人で抱え
こまずにご相談ください。

倉吉市 人権政策課
さわやか人権文化センター

差別落書きや差別発言などに遭遇しま
したら、倉吉市人権政策課もしくは人権
文化センターにご相談ください。

電話 22-8130
電話/fax 28-2017

さわやか人権文化センターだより

さわやか

2024年10月1日発行 No.360

〔発行所〕さわやか人権文化センター

〔所在地〕〒682-0602

倉吉市上米積 1074-1

〔電話兼ファックス〕0858-28-2017

〔メールアドレス〕sawayaka@ncn-k.net

センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をおよせください。

高城地区、北谷地区の 同和教育町内学習会が 始まります！

地域や職場、学校などでの同和教育・人権教育によって部落問題をはじめ人権に対する意識は向上しています。しかし、まだまだ人権侵害や差別は存在しています。町内学習会で社会に存在する差別について考え、地域の課題や取り組みについて話し合しましょう。



北谷地区《実施期間：10月～11月》

全体テーマを『地域みんな（だれも）の人権が尊重されるむらづくり～真の“ぬのこ谷”の創造「わたしにできることは…」～』として、北谷地区集落内の人権課題、地域の人権課題、今日的な人権課題等から選び、正しい理解と認識を深めていきます。

学習会の内容については集落ごとに企画し運営します。地域で考えてみたいことなど、各集落に合ったテーマを設定し、その課題を共有し改善に向けて話し合います。

高城地区《実施期間：10月18日～12月7日》

テーマを「安心して暮らせていますか？ あなたは？…」として、今年度は「配慮」「合理的配慮」について学習・話し合いをします。

私たちは障がいの有無に関係なく“配慮”としてさまざまな場面で社会的サービスや支援を受けています。ところが、そうしたサービスや支援が「障がいのない人」を基準にしているものが多く、障がいのある人がその“配慮”を受けられていないことがあります。

障がいのある人もない人も、共に生きる社会の実現に向け、地域でどのような取り組みができるか、考えていきます。



すべての人に使いやすく、わかりやすく

わたしたちが暮らす地域には、さまざまな人がいます。ある人にとってはバリア（障壁）でないものが、別の誰かにとってはバリアになってしまうことがあります。

そこで誰もが暮らしやすくするために、バリアフリーやユニバーサルデザイン（UD）の考え方を取り入れたものが増えてきました。

日々の生活のなかで、さまざまな場面で困ること（一例）

誰もが困ること

- ・シャンプーとリンスのボトルが同じ形の場合、洗髪時は目を開けるので、どちらがシャンプーなのかわからなかった。
- ・缶酎ハイ？ 缶ジュース？ お酒かジュースか、わかりづらいラベルの缶があった。

色弱の人は

- ・黒板の色と赤チョークの色が同じに見えるため、赤チョークで書いた文字は読めない。色づかいの違いを級友にからかわれた。
- ・違う色の錠剤を数種類出されて、薬剤師から「夜は水色のお薬も飲んでください」と言われても、薬の色が同じ色に見えるため、袋から出すとわからなくなる。

身の回りのユニバーサルデザイン（一部）

自動ドア

自動ドアは身近なユニバーサルデザインの代表例といえるでしょう。ドアを開ける力をかけにくい高齢者や子ども、車いす利用者などが利用しやすくなっています。また、荷物を両手に抱えたり、ベビーカーを押したり、子どもを抱きかかえたりする人にとっても便利な存在です。

シャンプーとリンスのボトル

シャンプーの容器にきざみ状の突起をつけ、リンスの容器に突起をつけないデザインにより、触っただけで区別することができます。視覚に障がいのある人だけでなく、洗髪中で目を閉じたままでも使い勝手がよくなっています。

現在はメーカーを超えて統一が図られ、より使いやすくなっています。

文房具

右利き・左利きに関係なく使えるカッターナイフ、弱い力でも握りやすいハサミ、針が格納され安全に抜き差しできる画鋏、正しい指の位置で安定して握れる鉛筆、反射によるちらつきやまぶしさを抑えたノートなど、年齢や能力、経験によらず、使う人の負担を減らし、誰でも同じように使いこなせるデザインが施された文房具です。

ユニバーサルデザイン（UD）とは年齢や性別、障がいの有無、文化の違いなどにかかわらず、すべての人にとってできるかぎり利用可能になるように、はじめから環境・情報・サービスを設計すること



自動ドア

心のユニバーサルデザイン

- 「バリア」が社会のなかにあると気づくこと
- 自分とは違う人に対して、差別をしない
- 自分とは違うさまざまな人とコミュニケーションをとり、想像し、共感する力を持つこと

誰でも公平に

ユニバーサルデザインは、公共の場所やサービスをすべての人がアクセスしやすいようにして、経済的・社会的・物理的なバリアを取り除き、誰もが安心して暮らせる地域をつくれます。

さわやか人権文化センターのカラーユニバーサルデザインを検証！

9月20日に鳥取県隣保館連絡協議会 調査研究委員会が、カラーユニバーサルデザインについて、さわやか人権文化センター職員の研修と館内を検証しました。

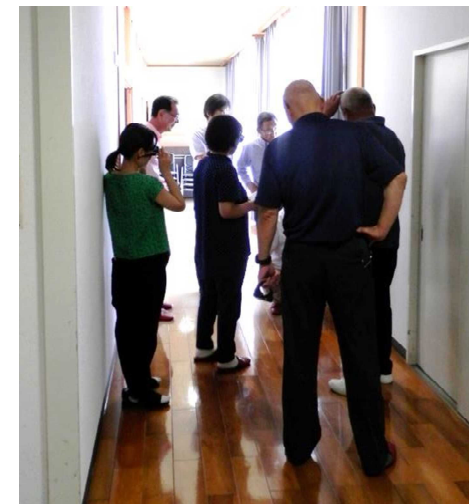
カラーカラーユニバーサルデザインとは

色覚（色の感じ方）は、味覚や臭覚と同じように人それぞれに違います。より多くの人々が「使いやすい」「わかりやすい」というユニバーサルデザインの考え方は、色づかいに関しても同じです。

カラーユニバーサルデザインは、誰に対してもきちんと正しい情報が伝わるように、色の使い方や文字の形などにあらかじめ配慮する取り組みです。

施設でカラーユニバーサルデザインを検証する理由

人権文化センター内には、さまざまな案内板などが貼られています。また、研修や事業説明で資料・文書を多くの人に配布します。そうした案内板や資料・文書の作成で、見やすくするための色づかいが、色弱の人などにとっては、かえって見わけにくくなる場合があります。カラーユニバーサルデザインの視点に立った環境・サービス（色づかい）が必要です。



さわやか人権文化センターを検証



検証で指摘されたところ

- ・照明スイッチの表示ランプの点灯がわかりづらい
- ・火災報知器の表示灯が見えづらい
- ・消火器の表示板（背景が黄色に白文字）の文字が読みづらい
- ・案内板やホワイトボードマーカーの黒色と赤色が同じ色に見える

正しく情報が伝わるために

カラーユニバーサルデザインは、2色以上の色を使うときや写真などの上に文字を書くときには、多くの人が見わけることができる色づかいを行うことが必要です。そのうえで、形や塗り分けなどを併用することで、「読めない」「使いづらい」といった状態を解消し、多くの人に情報が正確に伝わるようにしていかなければなりません。

第27回 さわやか人権フェスティバル

開催日 2024年12月7日（土）～10日（火）予定

場所 さわやか人権文化センター

内容 作品展示（保育園、児童センター、小学校、中学校、地域住民ほか）
（予定）食生活改善啓発（高城食生活改善推進委員会）
人権問題講演会
食事サービス

※今回は、小学生・中学生の学習活動発表はありません。

作品展示コーナー
地域の皆様の作品を募集！
地域の講座でつくった作品や
趣味でつくった作品をフェスティバルに出品しませんか？